

# 学校図書館支援センター通信 147号

令和2年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

## 第一中学校 確かな学びの早道「読書」事業

千葉県教育委員会では、「確かな学びの早道『読書』事業」の取組を行っています。昨年度、第一中学校がこの事業の実践協力校の指定を受け、学校図書館を活用した様々な実践を行いました。今回は、第一中学校の実践の中から、読書推進に向けた活動と図書資料を活用した授業の様子について紹介します。

なお詳細につきましては、千葉県教育委員会のホームページにて紹介されていますので、ご覧ください。

### ☆読書推進に向けた活動☆

#### 《朝読書（読書週間）》

小学校から継続している読書活動を推進し、生徒に読書習慣を身につけさせることを目的に、全校朝読書に取り組んでいます。実施期間は、定期試験終了後、毎学期末の授業前の15分間です。

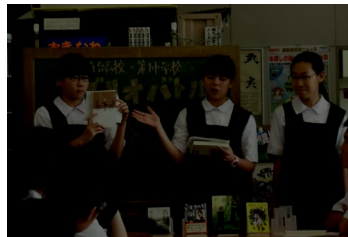
朝の時間に一人一人が黙読をすることで、落ち着いた気持ちで、学校生活をスタートさせることができます。

#### 《読み聞かせ活動》

年に3回、朝読書の時間に、外部ボランティアの方が各クラスへ入り読み聞かせを行っています。読み聞かせをする図書の選書は、学校司書と一緒にいきます。各学年の授業や活動内容を考慮しながら、平和、人権、差別、家族などのテーマを決めて、生徒たちの実態に合わせた内容の絵本を選ぶようにしています。

外部ボランティアの方の読み聞かせを通して、生徒たちは、命や平和などについて考える良い機会となっています。

#### 《高校生とのビブリオバトルと文化祭のステージ発表》



図書委員会の活動の一つとして、隣接する公立高校の高校生との合同ビブリオバトルを年に1回行っています。この活動は、中高連携の取組も兼ねています。各校5組の出場があり、制限時間の5分間を有効に活用し、説得力のある内容で堂々と発表をしています。それぞれの発表を通して、中学校、高校の図書委員会の交流を深めています。

この体験を生かして、図書委員会では、秋の文化祭で、劇を取り入れた図書の紹介を行っています。中学1～3年生を混ぜて3グループ作り、図書の選書、脚本作り、係を決め（司会進行・配役・大道具・小道具・音響

など）生徒たちが中心となり進めていきます。劇を通して作品の魅力を伝えることができ、紹介した図書の貸し出しの増加につながっています。

### ☆図書資料を活用した授業☆

各教科、総合的な学習の時間の授業で、学校図書館を活用しています。3年生の国語科「古典」の学習では、図書資料を用いた情報収集の方法を学び、インターネットで調べる時との違いに気が付くことができました。また、複数の図書資料を見比べることで新しい発見があり、集めた情報をもとに自分の考えを深めることができた生徒は実感することができました。



#### 「確かな学びの早道『読書』事業」について

子どもたちがより一層読書に親しむことができる環境づくりを推進するとともに、学校での読書指導の充実を図り、読書好きな子どもを育成していこうとするものです。（千葉県教育委員会 HP より抜粋）

## 図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～



第四中学校では、毎年「私の推薦する本」を夏休み前に発行しています。これは、職員と図書委員全員が推薦する本を掲載した冊子で、平成4年度から30年近く続く活動です。

図書委員は自分で紹介文を書くとともに、先生への原稿の依頼、イラスト、製本などに取り組みます。図書委員の描くイラストは力作が多く、冊子への興味喚起に繋がっていると思います。推薦する本は一人一冊ですが、職員も全員が参加するため、推薦図書は多岐にわたり、冊子を見て図書館に借りに来る生徒もいます。今年度は新型コロナ感染症の影響で遅くなりましたが、8月末に配付することが出来ました。今後も様々な形で読書への啓蒙活動に取り組んでいきたいと思っています。

【市川市立第四中学校 学校司書 中島 葉子】



## 学校司書合同研修会

～9月16日～



### 話題となった内容

- 学校図書館利用について
  - ・図書の貸出方法
  - ・3密を作らないための工夫
- 委員会活動及び読書週間（月間）について
- ICTの活用について
  - ・書画カメラ
  - ・プロジェクター

新型コロナ感染症の影響により、8月までの研修会が中止となったため、今回の学校司書合同研修会は、今年度初回の研修会となりました。今回は新型コロナ感染症感染拡大防止の観点により、小学校、義務教育学校（前期課程）と中学校、義務教育学校（後期課程）、特別支援学校学校に分かれ、短い時間で行いました。今回の内容は、「新型コロナ感染症対策を踏まえた学校図書館運営」についての情報交換です。

学校図書館の利用については、「密集しないように休み時間の利用は学年ごと割り振りをしている」「休み時間は貸出のみとしている」「中学校ブロックで情報を共有しながら進めている」など各学校の実態に合わせて行っています。今後の課題として、どのように委員会活動と読書週間（月間）を進めていけばよいかということがあげられていました。委員会活動では、おすすめの本の紹介やPOPづくりなど読書活動を啓発できる取組を考えている学校がありました。また読書週間では、くじ引きブック（くじ引きで図書を選ぶため普段手に取らない本と出合える）や作家大賞（お話を創作する）、読書ビンゴ、放送による読み聞かせなど、個人で行える活動のアイデアを共有していました。

また今回の新型コロナ感染症に向けた対策を進める中で、学校図書館でのICT活用の推進も図られています。例えば、書画カメラを使って絵本の挿絵や図鑑の写真等を拡大して提示したり、オリエンテーションのパワーポイント資料や学校司書等が作成した動画などをプロジェクターで映しながら説明をしたりしています。このようにICTを活用することで、児童生徒の興味関心を高めるとともに理解を深めることにつながっています。

### 「学校図書館活用授業時数調査（前期分）」提出のお願い

今年度も司書教諭の先生方へ「学校図書館活用授業時数調査」のご協力をお願いしています。

前期分（6月～9月）の提出期限は、10月13日（火）までとなっています。今年度は、例年と比べて、授業の中で学校図書館を活用するための時間確保が難しいと思われます。今回の「学校図書館活用授業時数調査」は、現状を把握するための資料のひとつとしていきます。ご理解、ご協力お願いいたします。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

